

## 研究業績一覧表

## 査読付論文……………【83 編】

- 1) 前原聡, 伊代田岳史: 雨掛かりの有無が中性化によるかぶりの剥離・剥落に及ぼす影響に関する研究, 土木学会論文集 E2 (材料・コンクリート構造), Vol.74, No.2, pp.80-87, 2018
- 2) 伊藤 慎也, 盛岡 実, 中西 縁, 伊代田 岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材を用いたコンクリートの物質浸透特性, セメント・コンクリート論文集, 71 巻 (2017) 1 号 p.197-203, 2017
- 3) 伊代田岳史, 本名英理香: コンクリート構造物の炭酸化進行における雨掛り等の環境条件の影響とその進行メカニズムの検討, コンクリート工学論文集 第 28 巻, pp.113-122, 2017
- 4) 三坂岳広, 伊代田岳史: 電気抵抗を用いた各種養生方法による養生効果評価手法の提案, 第 17 回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, No.17, pp.453-458, 2017.10
- 5) 二村憲太郎, 井上靖雄, 川前勝三郎, 伊代田岳史, 長谷川忠大: 無人航空機 (ドローン) を活用した構造物へのコンクリート表面含浸材塗布の省力化検証, 第 17 回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, No.17, pp.161-166, 2017.10
- 6) 三坂岳広, 太田真帆, 伊代田岳史: まだ固まらないコンクリートの水和反応が直流四電極法で測定する電気抵抗に与える影響, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.505-510, Vol.39, No.1, 2017
- 7) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 混和材料を高置換したセメントにおける中性化進行メカニズムの検討, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.637-642, Vol.39, No.1, 2017
- 8) 伊藤慎也, 盛岡実, 中西縁, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材を用いたコンクリートの物質浸透特性, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.721-726, Vol.39, No.1, 2017
- 9) 前原聡, 伊代田岳史: 塩化物イオンと中性化による腐食生成物の違いがひび割れ発生に及ぼす影響, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.1051-1056, Vol.39, No.1, 2017
- 10) 松田信広, 伊代田岳史: 異なる条件で改質させた再生骨材がコンクリートの強度性状に及ぼす影響, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.1531-1536, Vol.39, No.1, 2017
- 11) 三坂岳広, 伊代田岳史: 電気抵抗を用いた各種養生方法による養生効果評価手法の提案, 第 17 回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, No.17, pp.453-458, 2017.10
- 12) 二村憲太郎, 井上靖雄, 川前勝三郎, 伊代田岳史, 長谷川忠大: 無人航空機 (ドローン) を活用した構造物へのコンクリート表面含浸材塗布の省力化検証, 第 17 回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, No.17, pp.161-166, 2017.10
- 13) 三坂岳広, 太田真帆, 伊代田岳史: まだ固まらないコンクリートの水和反応が直流四電極法で測定する電気抵抗に与える影響, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.505-510, Vol.39, No.1, 2017
- 14) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 混和材料を高置換したセメントにおける中性化進行メカニズムの検討, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.637-642, Vol.39, No.1, 2017
- 15) 伊藤慎也, 盛岡実, 中西縁, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材を用いたコンクリートの物質浸透特性, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.721-726, Vol.39, No.1, 2017

- 16) 前原聡, 伊代田岳史: 塩化物イオンと中性化による腐食生成物の違いがひび割れ発生に及ぼす影響, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp.1051-1056, Vol.39, No.1, 2017
- 17) 松田信広, 伊代田岳史: 異なる条件で改質させた再生骨材がコンクリートの強度性状に及ぼす影響, 第 39 回コンクリート工学年次論文集, pp. 1531-1366, Vol.39, No.1, 2017
- 18) 伊藤慎也, 盛岡実, 伊藤孝文, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材を用いたコンクリートの耐塩性評価, セメント・コンクリート論文集 Vol.70, pp.169-179, 2017
- 19) 伊藤慎也, 盛岡実, 伊代田岳史, 丸山一平: カルシウムアルミネート系骨材による遷移帯の改質効果, 材料 Vo.65, No.11, pp.787-792, 2016
- 20) 村上順菜, 辻田陽一郎, 二村憲太郎, 伊代田岳史: 覆工コンクリートにおける脱枠時期および養生手法が表層品質に与える影響, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 16 巻, p.67-72
- 21) 前原聡, 伊代田岳史: 塩害と中性化における劣化機構の違いが鉄筋の腐食形態に及ぼす影響, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 16 巻, p.147-152
- 22) 太田真帆, 伊代田岳史: 性状が異なるコンクリートにおける適切バイブレータの締固めの方法の提案, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 16 巻, p.183-188
- 23) 田箆滉貴, 伊代田岳史: ブリーディングによる空隙構造の違いが物質透過性に及ぼす影響, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 16 巻, p.189-194
- 24) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 電気伝導率計を用いた圧縮強度推定のメカニズムの検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 16 巻, p.227-232
- 25) 本名英理香, 伊代田岳史: セメント種類や環境条件の違いが実構造物の炭酸化に与える影響, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.723-728, 2016
- 26) 伊藤慎也, 庄司慎, 盛岡実, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材の塩化物イオン浸透抑制効果とその機構, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.939-914, 2016
- 27) 前原聡, 伊代田岳史: 鉄筋腐食での腐食形態がモルタル表面のひずみ挙動に及ぼす影響, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.1113-1118, 2016
- 28) 松田信広, 鈴木創太, 伊代田岳史: 改質再生骨材を用いた骨材置換法でのコンクリートの強度および耐久性に関する検討, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.1791-1796, 2016
- 29) 斉藤丈士, 中田善久, 伊代田岳史, 齋藤俊克: 関東地区のレディーミクストコンクリート工場におけるコンクリートの運搬に関する実態調査, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.2247-2252, 2016
- 30) 中田善久, 斉藤丈士, 伊代田岳史, 齋藤俊克: 関東地区のレディーミクストコンクリート工場における JIS A 5308 認証と高強度コンクリートの国土交通大臣認定に関する実態調査, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.2253-2258, 2016
- 31) 齋藤俊克, 中田善久, 伊代田岳史, 斉藤丈士: 関東地区のレディーミクストコンクリート工場における出荷に関する取決めと残コン・戻りコンに関する実態調査, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.2259-2264, 2016
- 32) 伊代田岳史, 中田善久, 斉藤丈士, 齋藤俊克: 関東地区におけるレディーミクストコンクリート工場の設備および人材確保・育成に関する実態調査, 第 38 回コンクリート工学年次論文集, Vol.38, No.1, pp.2265-2270, 2016

- 33) 伊代田岳史, 小宮山祐人: 異なる塩分濃度における浸漬試験での各種混和材の塩分固定化性能比較, セメント・コンクリート論文集 Vol.69, pp.470-477, 2015
- 34) 伊藤慎也, 盛岡実, 伊藤孝文, 伊代田岳史: 塩素固定化材と膨張材を併用した低熱ポルトランドセメントの耐塩性評価, セメント・コンクリート論文集 Vol.69, pp.221-227, 2015
- 35) 本名英里香, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末使用の実構造物における炭酸化メカニズムの一検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 15 巻, pp.303-306, 2015
- 36) 伊藤孝文, 伊代田岳史, 伊藤慎也, 盛岡実:  $\text{CaO} \cdot 2\text{Al}_2\text{O}_3$  と膨張材を併用した低熱ポルトランドセメントの塩分浸透抑制効果の検証, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 15 巻, pp.269-274, 2015
- 37) 原沢蓉子, 亀山敬宏, 伊代田岳史: 消費水分量に着目した高炉セメントの水和反応解明に関する一検討, コンクリート工学年次論文集, Vol.37, No.1, pp.67-72, 2015
- 38) 本名英里香, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末混入が炭酸化生成物に与える影響, コンクリート工学年次論文集, Vol.37, No.1, pp.649-754, 2015
- 39) 三坂岳広, 太田真帆, 伊代田岳史: 直流四電極法により計測される電気抵抗に影響を及ぼす測定方法および計測条件の検討, コンクリート工学年次論文集, Vol.37, No.1, pp.1297-1302, 2015
- 40) 松田信広, 伊代田岳史: 低品質再生骨材の  $\text{CO}_2$  吸収による改質が再生骨材コンクリートの乾燥収縮に及ぼす影響, コンクリート工学年次論文集, Vol.37, No.1, pp.1417-1422, 2015
- 41) Takeshi Iyoda, Seishi Goto, Kiyoshi Asaga: On the hydration process of the slag-anhydrite-lime system: a discussion on the stoichiometry of hydrates and the development of strength, *Advances in Cement Research*, 2015
- 42) 伊代田岳史, 原沢蓉子, 亀山敬宏: 非定常電気泳動試験を用いた高炉コンクリートの養生影響評価, セメント・コンクリート論文集 Vol.68, pp.275-282, 2014
- 43) 亀山敬宏, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末の有効利用を目的とした三成分系セメントに関する研究, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 14 巻, pp.363-368, 2014.10
- 44) 原沢蓉子, 伊代田岳史: 劣化した構造物への表面含浸材の適用に関する一検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第 14 巻, pp.547-552, 2014.10
- 45) 伊代田岳史, 原沢蓉子, 後藤誠史, 浅賀喜与志: 異なる二酸化炭素濃度環境下における炭酸化メカニズムの検討, 第 41 回セメント・コンクリート研究討論会論文報告集, pp.19-24, 2014.10.10
- 46) 伊代田 岳史, 村上 拓: 耐久性向上と環境負荷低減を目的とした高炉セメント A 種への少量混合材の適用検討, コンクリート工学論文集 Vol. 25, P 125-134, 2014
- 47) 松田信広, 亀山敬宏, 松田美奈, 伊代田岳史:  $\text{CO}_2$  ガスの強制吸着による低エネルギー型再生骨材製造方法の検討, コンクリート工学年次論文集 Vol.36, No.1, pp.1732-1737, 2014
- 48) 三坂岳広, 原沢蓉子, 伊代田岳史: 直流四電極法による養生終了判定時期判定方法の確立および現場適用性の検討, コンクリート工学年次論文集 Vol.36, No.1, pp.1606-1611, 2014
- 49) 小宮山祐人, 田中貫一, 伊代田岳史: 塩分濃度の相違が生成物および塩分浸透深さに与える影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.36, No.1, pp.1000-1005, 2014
- 50) 亀山敬宏, 黒田伸吾, 伊代田岳史: 非定常状態電気泳動試験を用いた養生方法および期間の違いによる塩分浸透の評価, コンクリート工学年次論文集 Vol.36, No.1, pp.946-951, 2014

- 51) 原沢蓉子, 本多和博, 伊代田岳史: 異なる炭酸化環境が空隙特性および炭酸化生成物に与える影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.36, No.1, pp.808-813, 2014
- 52) 原沢蓉子, 細川佳史, 伊代田岳史: 通電時間およびセメント種類が非定常状態電気泳動試験の拡散係数に与える影響, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第13巻, pp.27-32, 2013
- 53) 亀山敬宏, 松田信広, 伊代田岳史: 再生骨材の普及に向けた品質改善と提供手法に関する研究, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第13巻, pp.21-26, 2013
- 54) 豊村恵理, 伊代田岳史: 異なる二酸化炭素濃度環境下における炭酸化メカニズムに関する一検討, 第34回コンクリート工学年次大会(名古屋), pp.769-774, 2013
- 55) 串橋巧, 盛岡実, 伊代田岳史, 檀康弘: 有機-無機複合型塗膜剤を塗布した高炉セメント硬化体の基礎物性, セメント・コンクリート論文集 Vol.66, pp.205-210, 2012
- 56) 加藤佳孝, 伊代田岳史, 伊藤正憲, 小島正朗, 西脇智哉, 兼松学: 委員会報告 社会情勢とコンクリート産業構造の関連性検討委員会, コンクリート工学年次論文集 Vol.34, No.1, CD-ROM, pp.25-32, 2012
- 57) 豊村恵理, 上原菜津葵, 伊代田岳史: 直流比抵抗を用いたコンクリートの養生終了タイミング判断手法に関する基礎的研究, コンクリート工学年次論文集 Vol.34, No.1, CD-ROM, pp.1348-1353, 2012
- 58) 伊代田岳史, 井ノ口公寛: 簡易な真空吸水試験を用いた中性化進行予測手法の提案, コンクリート工学年次論文集 Vol.34, No.1, CD-ROM, pp.748-753, 2012
- 59) 井ノ口公寛, 豊村恵理, 伊代田岳史: 高炉コンクリートの養生相違が乾燥の影響範囲に与える影響, 日本コンクリート工学会 混和材を積極的に使用するコンクリートに関するシンポジウム, pp.69-74, 2011
- 60) 豊村恵理, 伊代田岳史: 養生条件が中性化速度に及ぼす影響, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第11巻, pp.401-406, 2011
- 61) 村上拓, 阿保寿郎, 伊代田岳史: コンクリートの新たな凝結管理手法の有効性に関する検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集第11巻, pp.87-92, 2011
- 62) 松崎晋一郎, 豊村恵理, 伊代田岳史: 高炉セメントの塩化物イオン固定化特性に関する一検討, コンクリート工学年次論文集 Vol.33, No.1, CD-ROM, pp.797-802, 2011
- 63) 井ノ口 公寛, 歌川 紀之, 伊代田 岳史: コンクリートの表層と内部の湿度の相違が乾燥収縮と耐久性に与える影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.33, No.1, CD-ROM, pp.563-568, 2011
- 64) 伊代田岳史, 松崎晋一郎, 井ノ口公寛, 歌川紀之: 養生とその後の環境による内部湿度の相違が乾燥収縮に与える影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.32, CD-ROM, pp.111-116, 2010
- 65) 檀康弘, 伊代田岳史, 大塚勇介, 佐川康貴, 濱田秀則: 高炉スラグ微粉末を混入したコンクリートの養生条件と耐久性の関係, 土木学会論文集E, Vol. 65, No. 4, pp.431-441, 2009
- 66) 檀康弘, 伊代田岳史, 兼安真司, 植木康知: 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの凍害および凍結防止剤に対する劣化抵抗性, 土木学会論文集E, Vol.65, No.3, pp.291-299, 2009
- 67) 伊代田岳史, 檀康弘, 川端雄一郎, 濱田秀則: 高炉コンクリートにおける養生敏感性, コンクリート工学年次論文集 Vol.30, CD-ROM, pp.111-116, 2008
- 68) 佐藤幸恵, 丸山一平, 伊代田岳史, 檀康弘: 脱型時期の違いがコンクリートの乾燥と品質に及ぼす影

- 響に関する実験的検討, コンクリート工学年次論文集 Vol.30, CD-ROM, pp.531-536, 2008
- 69) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘: 高炉セメント中のスラグ粉末度と石こう量が水和発熱と自己収縮特性に与える影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.29, CD-ROM, pp.99-104, 2007
- 70) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘: 高炉スラグ微粉末混入セメントの発熱特性に及ぼす各種要因の把握, コンクリート工学年次論文集 Vol.28, CD-ROM, pp.23-28, 2006
- 71) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘, 前田悦孝: 高炉スラグ微粉末を高含有したセメントの温度依存特性, コンクリート工学年次論文集 Vol.27, CD-ROM, pp.139-144, 2005
- 72) 佐藤幸恵, 榎田佳寛, 檀康弘, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの初期養生条件が強度発現に及ぼす影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.27, CD-ROM, pp.157-162, 2005
- 73) 加藤佳孝, 伊代田岳史, 西村次男, 魚本健人: ひび割れを有するコンクリートに適用した表面被覆材の力学性質と耐久性能評価, 土木学会論文集 V-66, pp.89-100, 2005
- 74) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢時の水分履歴がセメント硬化体の内部組織構造形成と物理特性に及ぼす影響, コンクリート工学論文集 Vol.15, No.2, pp. 25-34, 2004 (Issue 35)
- 75) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢における乾燥がセメント硬化体の内部組織構造に及ぼす影響, 土木学会論文集 V-59, pp.17-26, 2003
- 76) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢時の乾燥がセメント硬化体の内部組織形成と物理特性に与える影響, コンクリート工学年次論文集 Vol.25, CD-ROM, pp.551-556, 2003
- 77) 伊代田岳史, 魚本健人: 早期脱型による乾燥と水分の再供給がコンクリートの内部組織構造に与える影響, コンクリート工学年次論文集第 23 巻, Vol.2, pp.787-792, 2001
- 78) 伊代田岳史, 魚本健人: 初期材齢における乾燥履歴がセメント硬化体の水和反応と強度発現に与える影響, セメント・コンクリート論文集, 55 巻 pp.116-121, 2001
- 79) 伊代田岳史, 高羅信彦, 魚本健人: 初期養生時に乾燥を受けるセメント系硬化体の水和反応と水分逸散特性, コンクリート工学年次論文報告集, 22 巻 Vol.2, pp. 703-708, 2000
- 80) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢時に連続乾燥を受けるセメント硬化体の水和進行と内部水分量, セメント・コンクリート論文集, 54 巻 pp.167-173, 2000
- 81) 伊代田岳史, 矢島哲司, 魚本健人: コンクリート構造物の劣化診断システムの構築, コンクリート工学年次論文集第 21 巻, Vol.3, pp. 1123-1128, 1999
- 82) T.IYODA, T.UOMOTO: DEVELOPMENT OF A SYSTEM FOR EVALUATING DETERIORATION OF EXISTING CONCRETE STRUCTURES, TRANSACTIONS OF THE JAPAN CONCRETE INSTITUTE Vol.21, pp. 167-172, 1999
- 83) 伊代田岳史, 矢島哲司, 魚本健人: コンクリートのひび割れが中性化速度に及ぼす影響, コンクリート工学年次論文報告集, 20 巻 Vol.2, pp. 979-984, 1998

## 国際会議……………【48 編】

- 1) Takeshi Iyoda: EFFECT FOR CONCRETE PROPERTIES ON BLENDING RATE OF GROUND GRANULATED BLAST FURNACE SLAG, The 12th SEATUC Symposium (SEATUC 2018), pp.106-111, 2018.3

- 2) Koki Tagomori, Takeshi Iyoda: INFLUENCE OF AGGREGATE INTERFACE IN CONCRETE ON PERMEABILITY, The 12th SEATUC Symposium (SEATUC 2018), pp.112-116, 2018.3
- 3) Mizuno Hiroki, Nobuhiro Matsuda, Takeshi Iyoda: INFLUENCE ON REPLACEMENT OF RECYCLED AGGREGATE FOR STRENGTH AND DURABILITY OF CONCRETE, The 12th SEATUC Symposium (SEATUC 2018), pp.117-120, 2018.3
- 4) Takeshi Iyoda, Satoshi Maehara: SURVEY ON ENVIRONMENTAL IMPACT OF CARBONATION PROGRESS AND REBAR CORROSION IN ACTUAL CONCRETE STRUCTURE, The Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-15), p1325-1332, 2017.10
- 5) Hiromu Sueki, Takeshi Iyoda: STUDY ON THE IMPROVED DURABILITY OF CONCRETE USING THE C-S-H BASED HARDENING ACCELERATOR, The Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-15), p1333-1340, 2017.10
- 6) Koki Tagomori, Takeshi Iyoda: THE INFLUENCE OF VIBRATORS WITH DIFFERENT FREQUENCIES ON DURABILITY OF HARDENED CONCRETE, The Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-15), p1341-1346, 2017.10
- 7) Takehiro Misaka, Takeshi Iyoda: PROPOSAL for EVALUATING THE CURING EFFECT of CONCRETE WITH VARIOUS CURING METHODS USING ELECTRICAL RESISTANCE, The 8th Asia and Pacific Young Researchers and Graduate Symposium, CD-ROM, 2017.9
- 8) Hiromu Sueki, Takeshi Iyoda: STUDY FOR EFFECT OF SURFACE IMPREGNANT APPLYING FOR DETERIORATED CONCRETE, The 8th Asia and Pacific Young Researchers and Graduate Symposium, CD-ROM, 2017.9
- 9) Takeshi Iyoda, Satoshi Maehara: SURVEY ON ENVIRONMENTAL IMPACT OF CARBONATION PROGRESS AND REBAR CORROSION IN ACTUAL CONCRETE STRUCTURE, The Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-15), p1325-1332, 2017.10
- 10) Hiromu Sueki, Takeshi Iyoda: STUDY ON THE IMPROVED DURABILITY OF CONCRETE USING THE C-S-H BASED HARDENING ACCELERATOR, The Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-15), p1333-1340, 2017.10
- 11) Koki Tagomori, Takeshi Iyoda: THE INFLUENCE OF VIBRATORS WITH DIFFERENT FREQUENCIES ON DURABILITY OF HARDENED CONCRETE, The Fifteenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction (EASEC-15), p1341-1346, 2017.10
- 12) Takehiro Misaka, Takeshi Iyoda: PROPOSAL for EVALUATING THE CURING EFFECT of CONCRETE WITH VARIOUS CURING METHODS USING ELECTRICAL RESISTANCE, The 8th Asia and Pacific Young Researchers and Graduate Symposium, CD-ROM, 2017.9
- 13) Hiromu Sueki, Takeshi Iyoda: STUDY FOR EFFECT OF SURFACE IMPREGNANT APPLYING FOR DETERIORATED CONCRETE, The 8th Asia and Pacific Young Researchers and Graduate

Symposium, CD-ROM, 2017.9

- 14) Maho Ota and Takeshi Iyoda: Study of monitoring technique of hardening process concrete using electrical conductivity, The 7th International Conference of Asian Concrete Federation "SUSTAINABLE CONCRETE FOR NOW AND THE FUTURE", CD-ROM,2016
- 15) Satoshi Maehara, Masanori Ito and Takeshi Iyoda: INFLUENCE OF REBAR CORROSION BY CHLORIDE AND CARBONATION OF MORTAR SURFACE STRAIN, The 7th International Conference of Asian Concrete Federation "SUSTAINABLE CONCRETE FOR NOW AND THE FUTURE", CD-ROM,2016
- 16) Takafumi Ito, Shinya Ito, Minoru Morioka and Takeshi Iyoda: STUDY ON PREVENTION FOR SALT DAMAGES USING CA<sub>2</sub> AND EXPANSIVE MATERIAL APPLYING DIFFERENT CEMENT TYPE, The 7th International Conference of Asian Concrete Federation "SUSTAINABLE CONCRETE FOR NOW AND THE FUTURE", CD-ROM,2016
- 17) Takeshi Iyoda, Takahiro Kameyama and Yoko Harasawa: A STUDY ON UNDERSTANDING THE HYDRATION REACTION OF BLAST FURNACE CEMENT FOCUS ON THE AMOUNT OF WATER CONSUMED, The 7th International Conference of Asian Concrete Federation "SUSTAINABLE CONCRETE FOR NOW AND THE FUTURE", CD-ROM,2016
- 18) Takeshi Iyoda: Comparison for permeability resistance between concrete and mortar, The Fifth International Symposium on Life -Cycle Civil Engineering, IALCCE2016, pp.1304-1311
- 19) Takafumi Ito, Takeshi Iyoda: Effect of prevention for chloride ion using both of CA<sub>2</sub> and expansive admixture to low heat Portland cement, The Fifth International Symposium on Life -Cycle Civil Engineering, IALCCE2016, pp.1319-1326
- 20) Maho OTA, Takeshi IYODA: Study on estimation technique of hydration on concrete in the mold by electrical resistance value, The Fifth International Symposium on Life -Cycle Civil Engineering, IALCCE2016, pp.1342-1349
- 21) Takeshi Iyoda, Takahiro Matsuda: STUDY OF CONCRETE MODIFICATION EFFECT WITH RECYCLED AGGREGATE TREATED BY CARBONATION, pp.132-141, II International Conference on Concrete Sustainability, ICCS2016 (SPAIN)
- 22) Hiroki ISHIDA, Sumiko ANNO and Takeshi IYODA: GIS BASED FOR DEVELOPING SUPPORT APPLICATION OF CONCRETE CONSTRUCTION UNDER THE VARIOUS ENVIRONMENT, ACRS, 2015
- 23) Takeshi Iyoda, Maho Ota and Takehiro Misaka : PROPOSED CONSTRUCTION SUPPORT SYSTEM FOR ESTIMATION SETTING TIME AND CURING USING THE ELECTRICAL RESISTANCE ON CONSTRUCTION SITE, The Fifth International Conference on Construction Materials: Performance, Innovations and Structural Implications, CONMAT'15, 2015.8
- 24) Erika Honna, Takeshi Iyoda: Effect on mechanism of carbonation in different concentration of carbon dioxide and using ground granulated blast-furnace slag, RCCS, 2015
- 25) Takeshi IYODA, Yuto KOMIYAMA: Study of immobilization mechanism of chloride ion with different concentration of chloride ion using cement with powder admixtures, RCCS, 2015

- 26) T.Iyoda, E.Toyomura, S.Goto and K.Asaga : Study of carbonation mechanism of blast-furnace slag cement with different carbon dioxide concentrations, pp.1686-1693, IALCCE, 2014.11 (Waseda)
- 27) Yoko HARASAWA, Shingo KURODA and Takeshi IYODA : THE EFFECT ON CHLORIDE DIFFUSION FROM NON-STEADYSTATE ELECTRICALLY ACCELERATED METHODS USING DIFFERENT MIX PROPORTION AND CURING CONDITIONS, The 6<sup>th</sup> International Conference of Asia Concrete Federation, pp.503-507, 2014 (Seoul)
- 28) Takahiro KAMEYAMA, Nobuhiro MATSUDA and Takeshi IYODA : METHOD FOR IMPROVING THE QUALITY OF LOW-GRADE RECYCLED AGGREGATE, The 6<sup>th</sup> International Conference of Asia Concrete Federation, pp.1137-1141, 2014 (Seoul)
- 29) Takeshi IYODA, Eri TOYOMURA : STUDY ON CARBONATION MECHANISM IN DIFFERENT CONCENTRATION OF CARBON DIOXIDE, The 6<sup>th</sup> International Conference of Asia Concrete Federation, pp.1263-1268, 2014 (Seoul)
- 30) T. IYODA , Y. HARASAWA , Y. HOSOKAWA : STUDY THE CHLORIDE DIFFUSION COEFFICIENT CALCULATED FROM A SIMPLE ACCELERATED CHLORIDE PENETRATION TEST USING ELECTRICITY, EASEC 13(Sapporo), 2013
- 31) M. HENRY, T. SUGIYAMA, T. IYODA, K. SATO : OBSERVATION OF RECYCLED AGGREGATE STRUCTURE USING X-RAY CT , EASEC13 (Sapporo) , 2013
- 32) T. Misaka, T.Iyoda : Study on curing of concrete by the end time judgment of the DC specific resistance , SCMT3 (Kyoto), 2013
- 33) Takeshi IYODA, Yuto KOMIYAMA : A Study on New Type Cement for High Durability and Environmental Impact Reduction on Effective Use of Blast Furnace Slag, ICCS13, pp.153-158, 2013
- 34) E. Toyomura, K. Aoyama, T. Iyoda : Effect of different curing conditions on the degradation process, The 5<sup>th</sup> ACF International conference 2012 (Pattaya)
- 35) T.Iyoda, E.Toyomura : Study on the Prediction of Curing Period for meeting required Concrete Durability, The 5<sup>th</sup> ACF International conference 2012 (Pattaya)
- 36) Takeshi IYODA, Kimihiro INOKUCHI and Taketo UOMOTO : EFFECT ON SLAG HYDRATION OF BLAST-FURNACE SLAG CEMENT IN DIFFERENT CURING CONDITIONS, 13<sup>th</sup> International congress on the chemistry of cement, SPAIN 2011
- 37) Takeshi Iyoda, Shinichiro Matsuzaki : New method for evaluation of concrete durability in different curing condition, The 4<sup>th</sup> ACF International conference 2010
- 38) Hiromu Murakami, Takeshi Iyoda, Yusuke Fujima: EFFECT OF CURING TEMPERATURE AND HUMIDITY ON HYDRATION OF BLAST FURNACE SLAG POWDER IN SLAG CEMENT, The 4<sup>th</sup> ACF International conference 2010
- 39) Shinichiro Matsuzaki, Takeshi Iyoda and Taketo Uomoto : Fundamental study on the state of chloride ion at different depth from the surface of concrete, The 4<sup>th</sup> ACF International conference 2010
- 40) Kimihiro Inokuchi, Takeshi Iyoda : EFFECT OF CURING CONDITIONS AND EXPOSURE

CONDITIONS ON DRYING SHRINKAGE OF CONCRETE, The 4th ACF International conference 2010

- 41) S.Matsuzaki, T.Iyoda and T. Uomoto : Effect of mix proportions and construction conditions on permeability properties of surface and internal concrete, The 9th New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia
- 42) Takeshi IYODA, Yasuhiro DAN, Yasutaka SAGAWA and Hidenori HAMADA : THE EFFECT OF CURING PERIOD ON CONCRETE DURABILITY USING BLAST-FURNACE SLAG CEMENT, 3<sup>rd</sup> ACF International Conference, ACF/VCA, 2008
- 43) Takeshi IYODA, Shinji KANEYASU and Yasuhiro DAN : Study on heat of hydration for cementitious materials focus on ground granulated blast-furnace slag, Proceedings of The Tenth East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering & Construction, Materials, Experimentation, Maintenance and Rehabilitation, pp.725-730, 2006.8 (Bangkok, Thailand)
- 44) Taketo UOMOTO, Yoshitaka Kato, Takeshi IYODA: A study of making a database for the deteriorated concrete bridges using by the inspection software, CONSEC04, 2003
- 45) Takeshi IYODA, Taketo UOMOTO: Effect of Drying at Early Age on the Microstructures and the Physical Properties, Proceedings of the ninth east Asia-pacific conference on structural engineering and construction, CMT-6 with including CD-ROM, 2003.12 (Bali, Indonesia)
- 46) Takeshi IYODA, Yoshitaka KATO and Taketo UOMOTO: A study of making a database for the deteriorated concrete bridges, Proceedings of the Second International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia, CD-ROM, pp141-148, 2003.10 (Tokyo, Japan)
- 47) T.IYODA, T.UOMOTO : DEVELOPMENT OF A SYSTEM FOR EVALUATION DETERIORATION OF EXISTING CONCRETE STRUCTURES BY VISUAL INSPECTION, CONSEC01 Vol.2pp.1900-1907, 2001
- 48) T.IYODA, T.UOMOTO : Development of a system for evaluation of existing reinforced concrete structures, EASEC-7 Vol.2, pp. 1508-1513, 1999

#### **審査なし学術論文……………【195 編】**

- 1) 田籠滉貴, 伊代田岳史, 岡本敏道: バイブレータの周波数がコンクリートの物質透過性に与える影響, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-131, 2017
- 2) 前原聡, 伊代田岳史: コンクリート中の含水率とかぶり鉄筋の腐食速度に及ぼす影響, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-153, 2017
- 3) 中西縁, 南宏達, 杉山知己, 伊代田岳史: 単位水量中に占める C-S-H 系硬化促進剤が強度・耐久性に与える影響, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-350, 2017
- 4) 三坂岳広, 伊藤孝文, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末高置換セメントの炭酸化進行メカニズムの検討, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-355, 2017
- 5) 水野博貴, 吉成健吾, 大川憲, 伊代田岳史: 水和反応に着目した乾燥スラッジ微粉末の強度発現性に関する検討, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-523, 2017

- 6) 二村憲太郎, 井上靖雄, 伊代田岳史, 長谷川忠大, 油田信一, 桑名宏鷹: 無人航空機(ドローン)による構造物への補修吹付けにおける機体と対象構造物の距離の可視化技術の適用検証, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, VF699, 2017
- 7) 末木博, 伊代田岳史: 建設業界の転職事情からみた技術者の実情, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, CS1-027, 2017
- 8) 田竈滉貴, 伊代田岳史, 大川憲, 吉成健吾: 比表面積の異なる乾燥スラッジ微粉末の水和反応が強度に与える影響, 第 71 回セメント技術大会, 1104, 2017
- 9) 末木博, 伊代田岳史, 森嘉一: 高炉スラグ微粉末を用いた電気伝導率計の圧縮強度推定のメカニズムの検討, 第 71 回セメント技術大会, 1305, 2017
- 10) 水野博貴, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末高置換時における三成分系セメントの乾燥収縮に関する検討, 第 71 回セメント技術大会, 1308, 2017
- 11) 太田真帆, 水野博貴, 伊代田岳史: 混和材混入が自己収縮に与える影響の一検討, 第 71 回セメント技術大会, 1309, 2017
- 12) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 深さ方向を対象とした促進中性化後の pH と水和生成物の変化, 第 71 回セメント技術大会, 3201, 2017
- 13) 中西縁, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材を用いたコンクリートの物質透過性の検証, 第 71 回セメント技術大会, 3303, 2017
- 14) 三坂岳広, 伊藤孝文, 伊代田岳史: 異なるフレッシュ性状のモルタルが吹付け性状に与える影響, 第 71 回セメント技術大会, 3109, 2017
- 15) 田竈滉貴, 伊代田岳史, 岡本敏道: バイブレータの周波数がコンクリートの物質透過性に与える影響, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-131, 2017
- 16) 前原聡, 伊代田岳史: コンクリート中の含水率とかぶりが鉄筋の腐食速度に及ぼす影響, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-153, 2017
- 17) 中西縁, 南宏達, 杉山知己, 伊代田岳史: 単位水量中に占める C-S-H 系硬化促進剤が強度・耐久性に与える影響, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-350, 2017
- 18) 三坂岳広, 伊藤孝文, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末高置換セメントの炭酸化進行メカニズムの検討, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-355, 2017
- 19) 水野博貴, 吉成健吾, 大川憲, 伊代田岳史: 水和反応に着目した乾燥スラッジ微粉末の強度発現性に関する検討, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, V-523, 2017
- 20) 二村憲太郎, 井上靖雄, 伊代田岳史, 長谷川忠大, 油田信一, 桑名宏鷹: 無人航空機(ドローン)による構造物への補修吹付けにおける機体と対象構造物の距離の可視化技術の適用検証, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, VI-699, 2017
- 21) 末木博, 伊代田岳史: 建設業界の転職事情からみた技術者の実情, 土木学会全国大会第 72 回年次学術講演会, CS1-027, 2017
- 22) 田竈滉貴, 伊代田岳史, 大川憲, 吉成健吾: 比表面積の異なる乾燥スラッジ微粉末の水和反応が強度に与える影響, 第 71 回セメント技術大会, 1104, 2017
- 23) 末木博, 伊代田岳史, 森嘉一: 高炉スラグ微粉末を用いた電気伝導率計の圧縮強度推定のメカニズムの検討, 第 71 回セメント技術大会, 1305, 2017

- 24) 水野博貴, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末高置換時における三成分系セメントの乾燥収縮に関する検討, 第 71 回セメント技術大会, 1308, 2017
- 25) 太田真帆, 水野博貴, 伊代田岳史: 混和材混入が自己収縮に与える影響の一検討, 第 71 回セメント技術大会, 1309, 2017
- 26) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 深さ方向を対象とした促進中性化後の pH と水和生成物の変化, 第 71 回セメント技術大会, 3201, 2017
- 27) 中西縁, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材を用いたコンクリートの物質透過性の検証, 第 71 回セメント技術大会, 3303, 2017
- 28) 三坂岳広, 伊藤孝文, 伊代田岳史: 異なるフレッシュ性状のモルタルが吹付け性状に与える影響, 第 71 回セメント技術大会, 3109, 2017
- 29) 今井巧, 伊代田岳史: バイブレータの周波数の違いがコンクリートの耐久性に与える影響, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-24, 2017
- 30) 太田真帆, 伊代田岳史: 高炉セメントの水分消費方法の違いが収縮特性に与える影響の把握, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-37, 2017
- 31) 田籠滉貴, 伊代田岳史: アジア各国のセメント・混和材を用いたモルタルの基礎的研究, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-38, 2017
- 32) 吉成健吾, 大川憲, 伊代田岳史: 乾燥スラッジ微粉末の品質管理手法の検討, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-40, 2017
- 33) 中西縁, 伊代田岳史: CaO・Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 骨材使用コンクリートの遷移帯改質効果, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-41, 2017
- 34) 南宏達, 伊代田岳史: 高水セメント比における C-S-H 系硬化促進剤が強度・耐久性に与える影響, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-42, 2017
- 35) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 炭酸ガス濃度の違いが混和材高置換セメントの炭酸化進行に与える影響, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-49, 2017
- 36) 水野博貴, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末高置換セメントにおけるフライアッシュの乾燥収縮低減効果, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-53, 2017
- 37) 森嘉一, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの導電率計測による圧縮強度推定式の提案, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-54, 2017
- 38) 中川大樹, 伊代田岳史: アンケート調査による「土木」のイメージ向上方法の検討, 第 44 回土木学会関東支部技術研究発表会, VI-15, 2017
- 39) 太田真帆, 原沢蓉子, 伊代田岳史: 同一水和度の硬化体における高炉スラグ微粉末混入が乾燥収縮に与える影響, 土木学会第 71 回年次学術講演会, V-130, pp.259-260, 2016
- 40) 末木博, 寺尾涼, 伊代田岳史, 佐藤大輔: 四電極法を用いた練混ぜ時の水量と硬化後の強度推定に関する研究, 土木学会第 71 回年次学術講演会, V-308, pp.615-616, 2016
- 41) 田籠滉貴, 伊代田岳史, 岡本敏道: 締固め時間の変動がコンクリートの上下方向における材料分離に与える影響, 土木学会第 71 回年次学術講演会, V-364, pp.727-728, 2016
- 42) 伊藤孝文, 石田博貴, 伊代田岳史, 安納住子: 気候及び地理条件に着目した塩害の影響要因の分析, 土木学会第 71 回年次学術講演会, V-387, pp.773-774, 2016

- 43) 前原聡, 伊代田岳史: 中性化により腐食した鉄筋の詳細分析, 土木学会第 71 回年次学術講演会, V-412, pp.823-824, 2016
- 44) 伊代田岳史: 異なる環境が高炉セメントの炭酸化メカニズムに与える影響, 土木学会第 71 回年次学術講演会, V-533, pp.1065-1066, 2016
- 45) 二村憲太郎, 井上靖雄, 伊代田岳史: 無人航空機(ドローン)による構造物への補修材等吹付けの適用可能性の検証, 土木学会第 71 回年次学術講演会, VI-077, pp.153-154, 2016
- 46) 村上順菜, 辻田陽一郎, 二村憲太郎, 伊代田岳史: 覆工コンクリート脱枠後における簡易養生が表層品質に与える影響, 土木学会第 71 回年次学術講演会, VI-777, pp.1553-1554, 2016
- 47) 伊代田岳史:『土木』のイメージ改善のための教育効果の検証, 土木学会第 71 回年次学術講演会, CS1-016 , pp.31-32, 2016
- 48) 太田真帆, 寺内和子, 伊代田岳史: 電気伝導率計を用いた圧縮強度推定メカニズムの検討, 第 70 回セメント技術大会講演要旨 2016, pp.172-173, 2016
- 49) 前原聡, 伊代田岳史: 塩害および中性化による鉄筋腐食がモルタル表面のひずみ挙動に与える影響, 第 70 回セメント技術大会講演要旨 2016, pp.232-233, 2016
- 50) 伊藤慎也, 前田拓海, 盛岡実, 伊代田岳史:  $\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$  の反応メカニズムに関する考察, 第 70 回セメント技術大会講演要旨 2016, pp.248-249, 2016
- 51) 伊藤孝文, 伊藤慎也, 伊代田岳史, 増田卓司: CA 系材料を用いたコンクリートの塩分浸透抵抗性の検討, 第 70 回セメント技術大会講演要旨 2016, pp.250-251, 2016
- 52) 本名英理香, 伊代田岳史: 材料及び環境要因がコンクリート構造物の炭酸化進行に与える影響, 第 70 回セメント技術大会講演要旨 2016, pp.254-255, 2016
- 53) 末木博, 伊代田岳史: 硬化促進剤を用いたコンクリートの耐久性向上に関する研究, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-21, 2016
- 54) 田籠滉貴, 伊代田岳史: コンクリート中の骨材界面が物質透過性に与える影響, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-26, 2016
- 55) 本名英理香, 伊代田岳史: 環境要因の違いが高炉スラグ微粉末を用いたコンクリート構造物の炭酸化に与える影響, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-27, 2016
- 56) 鈴木悠平, 伊代田岳史: 締固め時間の違いが性状の異なるコンクリートの材料分離に及ぼす影響, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-46, 2016
- 57) 寺内和子, 伊代田岳史: 導電率を用いたコンクリートの圧縮強度推定メカニズム, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-47, 2016
- 58) 太田真帆, 寺尾涼, 伊代田岳史: 四電極法による断面修復材中の水分量簡易的計測手法の開発, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-48, 2016
- 59) 伊藤孝文, 田中彰, 伊代田岳史: 異なるフレッシュ性状を有する法面吹付けモルタルの施工性及び品質評価, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-49, 2016
- 60) 増田卓司, 伊代田岳史: 塩素固定化能力を持つ骨材および混和材を用いたコンクリート性能の把握, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-50, 2016
- 61) 鈴木創太, 松田信広, 伊代田岳史: 強制炭酸化を行った再生粗骨材の置換率がコンクリートの圧縮強度及び乾燥収縮に及ぼす影響, 第 43 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-63, 2016

- 62) 伊代田岳史, 松田信広, 伊藤孝文, 太田真帆: 改質再生骨材を用いたコンクリートの物性把握, 第 42 回セメント・コンクリート研究討論会論文報告集, pp.73-78, 2015
- 63) 須長真介, 辻田陽一郎, 二村憲太郎, 村上順菜, 伊代田岳史: ウェアラブルカメラを利用した熟練・若手技術者のコンクリート締固め技術比較実験, 土木学会第 70 回年次学術講演会, VI-383, pp.765-766, 2015
- 64) 伊藤孝文, 松田信広, 柳澤晃大, 伊代田岳史: 強制炭酸化を行った再生骨材が乾燥収縮と凍結融解に及ぼす影響, 土木学会第 70 回年次学術講演会, V-566, pp.1131-1132, 2015
- 65) 本名英理香, 中田康喜, 伊代田岳史: 骨材の有無が物質浸透性に与える影響, 土木学会第 70 回年次学術講演会, V-521, pp.1041-1042, 2015
- 66) 石田博貴, 安納住子, 伊代田岳史: GIS を用いたコンクリート構造部の塩害被害予測法の提案, 土木学会第 70 回年次学術講演会, V-399, pp.797-798, 2015
- 67) 太田真帆, 八木勝之, 小野寺三男, 伊代田岳史: 異なる周波数のバイブレータを用いたかぶりコンクリートの品質改善の検証, 土木学会第 70 回年次学術講演会, V-218, pp.435-436, 2015
- 68) 前原聡, 鈴木将充, 早川健司, 伊藤正憲, 伊代田岳史: 水分供給がかぶりコンクリートのはく離・はく落に与える影響に関する調査報告, 土木学会第 70 回年次学術講演会, V-041, pp.81-82, 2015
- 69) 太田真帆, 伊代田岳史: 電気抵抗値を用いた養生期間・型枠脱型時期推定手法の検討, 物理化学的解釈に基づく電気化学的計測手法の体系化に関する研究委員会・委員会報告集・論文集, 日本コンクリート工学会, pp.321-326, 2015
- 70) 伊藤孝文, 伊代田岳史: 非定常電気泳動試験による塩化物イオン遮蔽性に関する検討, 物理化学的解釈に基づく電気化学的計測手法の体系化に関する研究委員会・委員会報告集・論文集, 日本コンクリート工学会, pp.335-342, 2015
- 71) 本名英里香, 阿久津裕則, 氏原菜摘, 伊代田岳史, 濱崎仁: 異なる環境条件が中性化進行に与える影響とその診断法の検討, 第 5 回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム, pp.317-320, 2015
- 72) 二村憲太郎, 辻田陽一郎, 須長真介, 伊代田岳史: 市民によるコンクリート構造物点検の実行可能性調査, 第 5 回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム, pp.225-230, 2015
- 73) 伊藤孝文, 伊代田岳史, 島田裕貴: Google マップを用いた一般市民の維持管理意識向上に関する一検討, 第 5 回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム, pp.221-224, 2015
- 74) 三坂岳広, 太田真帆, 伊代田岳史: 直流四電極法による養生終了時期判定手法の現場適用および計測手法の検討, 第 5 回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム, pp.123-126, 2015
- 75) 太田真帆, 伊代田岳史: 電気抵抗値によるコンクリート硬化判定技術の検討, 第 5 回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム, pp.119-122, 2015
- 76) 石田博貴, 安納住子, 伊代田岳史: GIS を用いた異なる気候条件下におけるコンクリート施工支援システムの開発, 第 5 回コンクリート構造物の非破壊検査シンポジウム, pp.115-118, 2015
- 77) 前原聡, 伊代田岳史: 二酸化炭素濃度の違いがセメントペーストの炭酸化進行に及ぼす影響, 第 69 回セメント技術大会講演要旨, pp.44-45, 2015
- 78) 太田真帆, 伊代田岳史: 硬化前のコンクリートにおける電気抵抗値の挙動要因の分析, 第 69 回セメント技術大会講演要旨, pp.174-175, 2015
- 79) 本名英理香, 氏原菜摘, 伊代田岳史, 濱崎仁: 地中環境におけるコンクリートの中性化進行抑制効果の検討, 第 69 回セメント技術大会講演要旨, pp.218-219, 2015

- 80) 伊藤孝文, 伊藤慎也, 盛岡実, 伊代田岳史:  $\text{CaO} \cdot 2\text{Al}_2\text{O}_3$  と膨張材を併用した低熱ポルトランドセメントの塩分浸透抑制評価, 第 69 回セメント技術大会講演要旨, pp.236-237, 2015
- 81) 島田裕貴, 伊代田岳史: Google マップを用いた土木 PR 手法の一提案, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会IV-59, 2015
- 82) 伊藤孝文, 伊藤慎也, 盛岡実, 伊代田岳史:  $\text{CaO} \cdot 2\text{Al}_2\text{O}_3$  と膨張材を併用した低熱ポルトランドセメントの塩分浸透抑制評価, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-03, 2015
- 83) 原沢蓉子, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末混入モルタルの水分状態がひび割れ発生に与える影響, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-05, 2015
- 84) 柳澤晃大, 松田信広, 伊代田岳史: 強制炭酸化を行った再生骨材がコンクリートの乾燥収縮に及ぼす影響, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-11, 2015
- 85) 中田康喜, 伊代田岳史: セメント種類と水セメント比がモルタルとコンクリートの物質浸透性に与える影響, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-12, 2015
- 86) 太田真帆, 伊代田岳史: フレッシュコンクリートにおける電気抵抗値の挙動に与える要因の分析, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-19, 2015
- 87) 八木勝之, 伊代田岳史, 小野寺三男: 低周波バイブレータによるかぶりコンクリート品質向上の検証, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-37, 2015
- 88) 亀山敬宏, 伊代田岳史: 水和に消費される分量着目した高炉セメントの反応解明, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-63, 2015
- 89) 小宮山祐人, 伊代田岳史: 各種混和材料の添加による塩分固定メカニズムの解明, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-64, 2015
- 90) 本名英理香, 朝倉萌子, 伊代田岳史: 次世代社会人を対象とした土木への興味・関心を促す契機提案, 第 42 回土木学会関東支部技術研究発表会VI-27, 2015
- 91) 亀山敬宏, 田邊大樹, 伊代田岳史: 温度ひび割れ抑制効果の高い低発熱型高炉セメントの考案, 土木学会第 69 回年次学術講演会, V-194, pp.387-388, 2014
- 92) 原沢蓉子, 石川巧, 伊代田岳史: 劣化した構造物への表面含浸材の塗布が耐久性に与える効果の検証, 土木学会第 69 回年次学術講演会, V-222, pp.443-444, 2014
- 93) 二村憲太郎, 須長真介, 新井靖典, 伊代田岳史: 市民によるコンクリート構造物点検の実行可能性調査, 土木学会第 69 回年次学術講演会, VI-132, pp.263-264, 2014
- 94) 関本稀美, 伊代田岳史, 岩倉成志: 女性土木技術者に焦点をあてたダイバーシティ・マネジメントに関する基礎的研究, 土木学会第 69 回年次学術講演会, VI-221, pp.441-442, 2014
- 95) 槇島修, 寺澤正人, 川里麻莉子, 伊代田岳史: コンクリート構造物の導電率測定による躯体内の強度発現の推定法に関する基礎的研究, 土木学会第 69 回年次学術講演会, V-032, pp.63-64, 2014
- 96) 亀山敬宏, 田中貫一, 伊代田岳史: 異なる塩分環境下における塩分固定化現象の把握, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, pp.266-267, 2014
- 97) 原沢蓉子, 黒田伸吾, 伊代田岳史: 非定常状態電気泳動法を用いた養生の相違による塩分浸透評価, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, pp.268-269, 2014
- 98) 小宮山祐人, 作広潤, 伊代田岳史: 電気抵抗値を用いた施工管理手法の一提案, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, pp.322-323, 2014

- 99) 伊代田岳史, 松田信広, 亀山敬宏, 松田美奈: 二酸化炭素を吸着させた再生骨材の乾燥収縮特性, 第 68 回セメント技術大会講演要旨, pp.362-363, 2014
- 100) 亀山敬宏, 盛岡実, 奥山康二, 伊代田岳史: 高炉セメント C 種に適用した塗膜養生剤の強度・中性化抵抗性に与える効果の把握, 土木学会第 68 回年次学術講演会, V-099, 2013
- 101) 二村憲太郎, 辻田陽一郎, 新井靖典, 関 隆幸, 高崎 道彦, 伊代田岳史: 好環境下の実施工におけるコンクリート養生用製品の強度・耐久性および施工性比較, 土木学会第 68 回年次学術講演会, V-099, 2013
- 102) 臼杵匠, 伊代田岳史, 佐藤晋哉: セメント系簡易ひびわれ注入工法検討と同工法に用いる注入材料の配合検討, 土木学会第 68 回年次学術講演会, V-231, 2013
- 103) 佐藤恭平, マイケル ヘンリー, 杉山隆文, 伊代田岳史: X 線 CT を用いた再生骨材の構造観察, 土木学会第 68 回年次学術講演会, V-310, 2013
- 104) 原沢蓉子, 三坂岳広, 一ツ柳 陸, 伊代田岳史: 電気抵抗値を用いた養生期間内における強度推定手法の一提案, 土木学会第 68 回年次学術講演会, V-386, 2013
- 105) 伊代田 岳史: 「土木」のイメージ改善のための教育効果の把握, 土木学会第 68 回年次学術講演会, CS1-014, 2013
- 106) 原沢蓉子, 細川佳史, 伊代田岳史: セメント種類が非定常状態電気泳動試験の拡散係数に与える影響, 第 67 回セメント技術大会, pp.18-19, 2013
- 107) 小宮山祐人, 伊代田岳史: 各種混和材料を添加したセメントの塩分固定化特性の把握, 第 67 回セメント技術大会, pp.120-121, 2013
- 108) 伊代田岳史, 豊村恵理: 異なる CO<sub>2</sub> 濃度下での高炉セメントの炭酸化メカニズムに関する一考察, 第 67 回セメント技術大会, pp.230-231, 2013
- 109) 伊代田岳史, 小倉涉, 盛岡実, 奥山康二: 高炉セメント C 種コンクリートにおける有機-無機複合型塗膜養生剤の養生効果の検討, 第 67 回セメント技術大会, pp.296-297, 2013
- 110) 亀山敬宏, 松田信広, 伊代田岳史: 再生骨材の普及に向けた骨材の品質改善に関する一考察, 第 67 回セメント技術大会, pp.338-339, 2013
- 111) 中内 善貴, 伊代田 岳史, 後藤 誠史, 浅賀 喜与志: アルカリ刺激剤及び炭酸カルシウムが高炉スラグ微粉末の水和反応に及ぼす影響, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-1, 2013.3
- 112) 小倉 涉, 盛岡 実, 奥山 康二, 伊代田 岳史: 有機-無機複合型塗膜養生剤が高炉セメント C 種コンクリートに与える養生効果の検討, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-5, 2013.3
- 113) 亀山敬宏, 松田信広, 伊代田岳史: 再生骨材の普及に向けた骨材提供の安定化手法に関する一考察, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-6, 2013.3
- 114) 佐藤 晋哉, 臼杵 匠, 伊代田 岳史: 簡易的なひび割れ注入工法に用いる各種注入材料の補修効果の検討, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-22, 2013.3
- 115) 原沢 蓉子, 細川 佳史, 伊代田 岳史: 非定常状態電気泳動試験の通電時間が拡散係数に与える影響, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-45, 2013.3
- 116) 小宮山祐人, 伊代田岳史: 各種混和材を添加したセメントの塩分固定化特性の把握, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-47, 2013.3
- 117) 豊村恵理, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末の置換率が炭酸化メカニズムにおよぼす影響, 第 40 回

土木学会関東支部技術研究発表会 V-48, 2013.3

- 118) 一ツ柳 陸, 三坂 岳広, 伊代田 岳史: 電気抵抗値を用いた養生期間内における強度・耐久性の推定手法の一提案, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 V-56, 2013.3
- 119) 福島昌悟, 伊代田岳史: アンケート調査による土木の魅力的要素抽出とイメージ向上策提案, 第 40 回土木学会関東支部技術研究発表会 VI-20, 2013.3
- 120) 豊村恵理, 青山和樹, 伊代田岳史: 塩分供給方法と養生条件の相違が塩分浸透に及ぼす影響, 第 67 回土木学会年次学術講演会, V-090, 2012
- 121) ヘンリーマイケル, 伊代田岳史, 加藤佳孝: Statistical analysis of strength variation in concrete utilizing low-grade recycled aggregates, 第 67 回土木学会年次学術講演会, V-525, 2012
- 122) 白川順菜, 二村憲太郎, 伊代田岳史: 再振動締固めがコンクリートの諸特性に与える影響, 第 67 回土木学会年次学術講演会, V-563, 2012
- 123) 伊代田岳史, 豊村恵理: コンクリートの比抵抗による養生終了タイミングの推定, 第 67 回土木学会年次学術講演会, V-566, 2012
- 124) 伊代田岳史, 高橋佑輔, 村上 拓, 豊村恵理: 高炉スラグ微粉末の特徴を最大限に活かした三成分系セメントの提案に向けた一考察, 第 66 回セメント技術大会, pp.284-285, 2012
- 125) 市川拓弥, 寄藤昂, 伊代田岳史: ダム構造物が水源地域に与える影響と効果 -宮ヶ瀬ダムを事例として-, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, IV-63, CD-ROM, 2011
- 126) 荻村敬隆, 毛塚貴洋, 伊代田岳史, 臼杵匠: 無機系ひび割れ注入材の基本物性とひび割れ注入効果の検証, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-60, CD-ROM, 2011
- 127) 藪崎陽平, 毛塚貴洋, 伊代田岳史: 再振動締固めによるコンクリートのコールドジョイント抑制効果の検証, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-44, CD-ROM, 2011
- 128) 上原菜津葵, 豊村恵理, 伊代田岳史: 養生条件の相違が比抵抗に与える影響, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-43, CD-ROM, 2011
- 129) 村上 拓, 高橋佑輔, 伊代田岳史: 各種混和材の含有量を調整した三成分系セメントの耐久性に関する研究, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-39, CD-ROM, 2011
- 130) 高橋佑輔, 村上 拓, 伊代田岳史: 環境負荷低減型三成分系セメントの強度特性および ASR 抑制効果, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-38, CD-ROM, 2011
- 131) 山邊勝, 井ノ口公寛, 伊代田岳史: 表面含浸材の施工の違いがコンクリートの耐久性に与える影響, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-35, CD-ROM, 2011
- 132) 井ノ口公寛, 伊代田 岳史: 簡易な真空吸水試験を用いた劣化予測手法高度化の検討, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-26, CD-ROM, 2011
- 133) 原本康則, 井ノ口公寛, 伊代田岳史: 簡易な真空吸水試験を用いた耐久性評価システムの検討, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-25, CD-ROM, 2011
- 134) 青山和樹, 豊村恵理, 伊代田 岳史: 養生方法および期間の相違が塩分浸透に及ぼす影響, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会, V-7, CD-ROM, 2011
- 135) 白川順菜, 成島誠一, 二村憲太郎, 伊代田岳史: 再振動締固め適用時間がコンクリート耐久性改善に与える影響, 土木学会第 66 回年次学術講演会, pp235-236, 2011
- 136) 成島誠一, 白川順菜, 川前勝三郎, 伊代田岳史: バネ系減衰振動の特性を利用した再振動締固

めに関する定量的モニタリング, 土木学会第 66 回年次学術講演会, pp.237-238

- 137) 松崎晋一郎, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末の置換率および水結合材比が塩化物イオンの拡散性状に与える影響, 土木学会第 66 回年次学術講演会, pp.431-432
- 138) 豊村恵理, 松崎晋一郎, 伊代田岳史: 養生方法およびその期間を考慮した中性化速度式に関する一検討, 土木学会第 66 回年次学術講演会, pp.567-568
- 139) 井ノ口公寛, 伊代田岳史: 解放時期がコンクリート表層から深さ方向への吸水性に与える影響, 土木学会第 66 回年次学術講演会, pp.623-624
- 140) 村上 拓, 阿保 寿郎, 伊代田岳史: 電気伝導率を用いた新たな凝結管理手法の提案, 土木学会第 66 回年次学術講演会, VI-354, pp.707-708
- 141) 伊代田岳史, 青木浩也, 井ノ口公寛, 村上拓: 材料・施工要因が表層コンクリートの物質移動抵抗性に与える影響, 第 65 回セメント技術大会, pp.258-259, 2011
- 142) 丸山一平, 檀康弘, 伊代田岳史, 佐藤幸恵: 乾燥収縮試験の乾燥開始材齢が収縮量へ及ぼす影響に関する考察, 第 65 回セメント技術大会, pp.216-217, 2011
- 143) 白川順菜, 村上拓, 阿保寿郎, 伊代田岳史: コンクリートの凝結に伴う電気伝導率の特性と影響因子の検討, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 144) 豊村恵理, 松崎晋一郎, 伊代田岳史: 養生方法およびその期間が中性化速度に及ぼす影響, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 145) 高木隆志, 井ノ口公寛, 伊代田岳史: 養生期間の相違がコンクリートの内部湿度・乾燥収縮に与える影響, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 146) 井ノ口公寛, 伊代田岳史: コンクリートの表層と内部の湿度の相違が乾燥収縮と耐久性に与える影響, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 147) 田畑壮典, 成島誠一, 二村憲太郎, 伊代田岳史: 再振動締固めがコンクリートの強度・耐久性に与える影響, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 148) 石川巧, 松崎晋一郎, 伊代田岳史: 表面含浸材が劣化した構造物の耐久性に与える効果の検証, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 149) 橋本達朗, 岸利治, 安台浩, 伊代田岳史: 無機系材料を用いたひび割れ自己治癒技術の応用によるひび割れ漏水補修に関する研究, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 150) 佐川智也, Islam Md. Shafiqul, 岸利治, 伊代田岳史: 実構造物調査と採取コアを用いた室内浸漬実験による塩分浸透停滞現象に関する研究, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 151) 川崎あきな, 早川健司, 伊代田岳史, 加藤佳孝: 施工方法の相違がコンクリートの表層透気性に及ぼす影響, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 152) 濱田勝大, 村上拓, 伊代田岳史: 養生湿度の変化が高炉スラグ微粉末の水和反応に及ぼす影響, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 153) 萩原和也, マイケル ヘンリー, 伊代田岳史, 加藤佳孝: 再生骨材コンクリートの強度特性に関する基礎的研究, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無
- 154) 松崎晋一郎, 伊代田岳史: 高炉スラグ微粉末の置換率が塩化物イオンの拡散性状に与える影響,

第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, 2011, 査読無

- 155) 萩原和也, マイケルヘンリー, 西村次男, 加藤佳孝, 伊代田岳史, 栗島英明: 再生骨材コンクリートの信頼性向上のための基礎的研究, 第 6 回日本 LCA 学会研究発表会講演要旨集 pp.218-219, 2010.3
- 156) 井ノ口公寛, 佐藤健太朗, 歌川紀之, 伊代田岳史: 初期養生方法と養生後の環境変化が乾燥収縮に与える影響, 第 65 回土木学会年次大会学術講演会, V-166, pp.331-332, 2010
- 157) 松崎晋一郎, 鈴木肇, 伊代田岳史: 養生期間がコンクリート表層から深さ方向への吸水性に与える影響, 第 65 回土木学会年次大会学術講演会, V-580, pp.1159-1160, 2010
- 158) 入江正明, 平松賢士, 檀康弘, 伊代田岳史: ケイ酸質系浸透性改質剤を塗布した高炉スラグコンクリートの物質透過性能, 第 65 回土木学会年次大会学術講演会, V-295, pp.589-590, 2010
- 159) 小泉直人, 桑原嗣, 歌川紀之, 伊代田岳史: 散水システムを利用した覆工コンクリートの湿潤養生方法に関する検討 (その 2) —湿潤養生における養生効果の定量的な評価—, 第 65 回土木学会年次学術講演会, VI-016, pp.31-32, 2010
- 160) 伊代田岳史, 松崎晋一郎, 藤間祐輔, 大塚勇介: 養生温度と湿度が高炉セメント中のスラグ微粉末の反応に与える影響, 第 64 回セメント技術大会講演要旨, pp.72-73, 2010
- 161) Takeshi IYODA, Taketo UOMOTO: Effect of Curing conditions on the Microstructure, 第 64 回セメント技術大会講演要旨, pp.238-239, 2010
- 162) 佐藤健太朗, 伊代田岳史: 養生方法やセメントの相違がコンクリートの内部湿度・乾燥収縮に与える影響, 第 37 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, V-1, 2010
- 163) 井ノ口公寛, 伊代田岳史: 初期養生方法と養生後の環境変化が乾燥収縮に与える影響, 第 37 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, V-2, 2010
- 164) 松崎晋一郎, 永井宏樹, 伊代田岳史, 魚本健人: 簡易型ポータブル蛍光 X 線分析によるコンクリート中の塩分量の測定に関する研究, 第 37 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, V-16, 2010
- 165) 藤間祐輔, 伊代田岳史: 養生環境の相違が結合材の反応度に及ぼす影響, 第 37 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, V-26, 2010
- 166) 鈴木肇, 伊代田岳史: コア試験体を用いた表層コンクリートの耐久性簡易評価システムの構築, 第 37 回土木学会関東支部技術研究発表会, CD-ROM, V-57, 2010
- 167) 伊代田岳史, 大塚勇介, 檀康弘: 高炉スラグ微粉末を混入したコンクリートの養生温度と耐久性の関係, 第 63 回セメント技術大会講演要旨, pp.202-203, 2009
- 168) 串橋巧, 盛岡実, 伊代田岳史, 檀康弘: 有機-無機複合塗膜剤を塗布した高炉セメント硬化体の基礎物性, 第 63 回セメント技術大会講演要旨, pp.10-11, 2009
- 169) 高鳴笛, 濱田秀則, 村上英明, 檀康弘, 伊代田岳史: 高炉セメントコンクリートの塩化物イオン拡散係数に関する実験的検討, 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, 2009
- 170) 伊代田岳史, 大塚勇介, 檀康弘: 高炉スラグコンクリートのアルカリ骨材反応抵抗性に関連した実験的検証, 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, pp.739-740, 2008
- 171) 関康博, 松下博通, 濱田秀則, 檀康弘, 伊代田岳史: 養生条件の異なる高炉セメントコンクリートの塩化物イオン浸透抵抗性, 土木学会西部支部研究発表会講演概要集, CD-ROM, pp.741-742,

2008

- 172) 伊代田岳史, 福田武文, 兼安真司, 檀康弘: 高炉セメントに添加する石こうの種類や量による反応と収縮特性, 第 61 回セメント技術大会, pp.216-217, 2007
- 173) 竹内一真, 伊代田岳史, 渡辺幸一, 檀康弘: 高炉コンクリートのひび割れ調査と低発熱型高炉セメントの提案, 土木学会 333 委員会シンポジウム, pp.13-16, 2007
- 174) 伊代田岳史, 檀康弘: 高炉セメント中の高炉スラグ微粉末の反応速度における養生温度の影響, 土木学会 333 委員会シンポジウム, pp.59-62, 2007
- 175) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘: 水粉体比や置換率の違いによる高炉スラグ微粉末の反応特性, 第 60 回セメント技術大会講演要旨, pp.64-65, 2006
- 176) 伊代田岳史, 檀康弘: 低発熱型高炉セメント B 種の特性, 日本建築学会 材料施工委員会 セメント・混和材料研究小委員会 セメント・コンクリート用混和材料およびそれらの基準化に関する技術の現状と論文集, pp.1-4, 2006
- 177) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘: 低熱型高炉セメントの性能, 土木学会第 61 回年次学術講演会, CD-ROM, pp.487-488, 2006
- 178) 檀康弘, 伊代田岳史, 竹内一真, 渡辺幸一: 高炉セメントを用いたマスコンクリートのひび割れ調査, 土木学会第 61 回年次学術講演会, CD-ROM, pp.489-490, 2006
- 179) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘, 前田悦孝: 高炉スラグ微粉末への石膏添加量の相違による温度依存特性, 第 59 回セメント技術大会講演要旨, pp.30-31, 2005
- 180) 兼安真司, 伊代田岳史, 檀康弘, 植木康知: 高炉スラグ微粉末を用いた蒸気養生コンクリートの凍結融解および融氷剤抵抗性, 第 59 回セメント技術大会講演要旨, pp.160-161, 2005
- 181) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘, 前田悦孝: 高炉セメントコンクリートの塩分浸透と中性化の複合作用に対する耐久性評価, 自然環境とコンクリート性能評価に関するシンポジウム, pp.275-278, 2005
- 182) 伊代田岳史, 兼安真司, 檀康弘, 前田悦孝: 高炉セメントの塩害と中性化の複合劣化に対する耐久性 —室内試験と実環境試験—, 土木学会第 60 回年次学術講演会, CD-ROM, pp.757-758, 2005
- 183) 佐々木英人, 勝木太, 伊代田岳史, 矢島哲司: 高炉セメント中のスラグ置換率推定に関する簡易測定手法の基礎的研究, 土木学会第 60 回年次学術講演会, CD-ROM, pp.525-526, 2005
- 184) 檀康弘, 伊代田岳史: マスコンクリートへの高炉セメントの適用, 日本コンクリート工学協会 JCI-C66 マスコンクリートのひび割れ制御方法とその効果に関するシンポジウム, pp.7-12, 2005
- 185) 伊代田岳史, 魚本健人: 走査電子顕微鏡を用いた内部組織構造評価に関する一考察, 土木学会第 58 回年次学術講演会, CD-ROM, pp.429-430, 2003
- 186) 伊代田岳史, 魚本健人: 初期材齢時の環境の違いがセメント硬化体の物理特性に与える影響, 第 57 回セメント技術大会講演要旨, pp.94-95, 2003
- 187) 伊代田岳史, 伊藤一聡, 魚本健人: セメントペーストを用いた等温吸脱着曲線に与える各種要因の影響とその評価, 土木学会 第 56 回 年次学術講演会講演概要集, 56 巻 5 号, pp.540-541, 2001
- 188) 伊代田岳史, 魚本健人: 乾燥による水和停止後の水分再供給による水和挙動, 第 55 回セメント技術大会講演論文集, pp.16-17, 2001
- 189) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢で乾燥を受けたセメント硬化体の水和進行と水分保持能力に関

- する研究, 土木学会 第 55 回年次学術講演会講演概要集, 55 巻 5 号, pp.512-513, 2000
- 190) 高羅信彦, 伊代田岳史, 足立一郎, 魚本健人: 乾燥が自由水量の変化と細孔構造の形成に与える影響, 土木学会 第 55 回年次学術講演会講演概要集, 55 巻 5 号, pp.514-515, 2000
- 191) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢で乾燥を受けたセメント硬化体の水和速度と内部水分量, 第 54 回 セメント技術大会講演要旨, pp. 252~253, 2000
- 192) 伊代田岳史, 矢島哲司, 魚本健人: コンクリート構造物の劣化診断に関する基礎研究, 土木学会 第 54 回年次学術講演会講演概要集, 54 巻 5 号, pp. 278~279, 1999
- 193) 飯塚康弘, 足立一郎, 伊代田岳史, 魚本健人: ニュートラルネットワークを用いた塩害補修工法に対する評価, 土木学会第 54 回年次学術講演会講演概要集, V-74, pp.148-149, 1999.9
- 194) 伊代田岳史, 矢島哲司, 魚本健人: コンクリートのひび割れが塩分の浸透深さに及ぼす影響, 土木学会 第 53 回 年次学術講演会講演概要集, 53 巻 5 号, pp. 210~211, 1998
- 195) 伊代田岳史, 矢島哲司, 魚本健人: コンクリートの乾燥収縮ひび割れに関する実験的研究, 土木学会 第 52 回 年次学術講演会講演概要集, 52 巻 5 号, pp.1060~1061, 1997

## 芝浦工業大学研究報告等……………【18 編】

- 1) 伊代田岳史, 本名英理香: 「土木」のイメージ改善のための教育効果, 芝浦工業大学研究報告 理工系編 Vol.59, No.2, pp.77-83, 2015
- 2) 伊代田岳史, 原沢蓉子, 亀山敬宏: 非定常電気泳動試験による塩分浸透抵抗性の評価~セメント種類と養生の影響~, 芝浦工大研究報告理工系 58-2, 2014
- 3) 三坂岳広, 原沢蓉子, 伊代田岳史: 四電極法によるコンクリートの養生終了判定時期判定方法の確立と現場適用性の検討, 佐藤工業技術所報, No.39, pp.13-18, 2014
- 4) 三坂岳広, 伊代田岳史: 養生終了時判定手法に用いる直流四電極法により計測される電気抵抗計測におよぼすコンクリート温度の影響, 佐藤工業技術所報, No.38, pp.23-26, 2013
- 5) 三坂岳広, 伊代田岳史: 養生終了時判断手法に用いる直流四電極法による電気抵抗計測方法に関する基礎的研究, 佐藤工業技術研究所報 No.37, pp.25-28, 2012
- 6) 伊代田岳史, 井ノ口公寛, 豊村恵理: 空隙構造を簡易に計測する真空吸水試験の開発および真空吸水試験を用いた中性化進行予測手法の提案, 芝浦工業大学研究報告理工系 56-2, 2012
- 7) 伊代田 岳史, 魚本 健人: 原産国の異なる普通ポルトランドセメントを用いた養生方法の違いによる物理特性, 生産研究 55 巻 3 号 pp.77-80, 2003
- 8) 伊代田岳史, 魚本健人: 若材齢時における乾燥後の水分再供給による水和進行と細孔径分布の関係, 生産研究 54 巻 6 号 pp.70-73, 2002
- 9) 伊代田岳史, 魚本健人: 配合と養生環境の違いが質量変化と水和反応, 内部組織構造に与える影響, 生産研究 54 巻 6 号 pp.74-77, 2002
- 10) 伊代田岳史, 魚本健人: 乾燥による水和停止後の水分再供給による水和進行と細孔径分布の形成, 生産研究 53 巻 5 号 pp.46-49, 2001
- 11) 伊代田岳史, 魚本健人: 初期乾燥を受けたセメントペーストの水和・細孔組織に与える高炉スラグの影響, 生産研究 53 巻 3 号 pp.38-41, 2001

- 12) 伊代田岳史, 魚本健人: 初期乾燥における水和反応停止時期の推測に関する一考察, 生産研究 53 巻 1 号 pp.79-82, 2001
- 13) 伊代田岳史, 魚本健人: 養生環境の違いによるセメント硬化体の水和進行と内部水分, 生産研究 52 巻 10 号 pp.47-50, 2000
- 14) 飯塚 康弘, 伊代田 岳史, 加藤 佳孝, 魚本 健人: ニューラルネットワークを用いた塩害補修工法に対する評価, 生産研究 52 巻 2 号 pp.34-37, 2000
- 15) 伊代田岳史, 魚本健人: コンクリート構造物における劣化診断支援システム, 生産研究 51 巻 12 号, pp. 33~36, 1999
- 16) 伊代田岳史, 魚本健人: コンクリート構造物の劣化原因別劣化進行予測システムの構築, 生産研究 51 巻 11 号, pp. 44~48, 1999
- 17) 伊代田岳史, 魚本健人: コンクリートのひび割れが塩分浸透深さに及ぼす影響, 生産研究 50 巻 10 号, pp. 40~42, 1998
- 18) 伊代田岳史, 魚本健人: コンクリートのひび割れが中性化深さに及ぼす影響, 生産研究 50 巻 9 号, pp. 37~39, 1998

## 学術雑誌等……………【22 編】

- 1) 伊代田岳史, 二村憲太郎: ドローンを用いたコンクリートひび割れ補修技術の最前線, 防水ジャーナル Mo.548, pp.82-84,2017.7
- 2) セメント新聞コラム あんぐる,2016
- 3) 伊代田岳史, 中田善久, 斉藤丈士, 齋藤俊克: 調査・報告 関東地区における生コンクリート工場の実態調査 その 1 アンケート調査の概要と生コン工場の設備および人材確保・育成の状況, コンクリートテクノ 8 月号, Vol.35,No.8,pp.33-39,2016
- 4) 伊代田岳史: 私の提言 わが国のコンクリートの底力 魅力ある産業に向けて, コンクリートテクノ Vol.35,No.6,pp.9-16,2016 伊代田岳史: 炭酸化技術で「再生コンクリートの高強度化」～廃煙 CO2 の有効利用～, 月刊マテリアルステージ Vol.15,No.6, pp.5-7, 2015
- 5) 松田信広, 伊代田岳史: 低品質再生骨材の CO2 吸着による改質が再生骨材コンクリートの乾燥収縮に及ぼす影響, コンクリートテクノ Vol.34,No.9, pp.44-50, 2015
- 6) 伊代田岳史: 電気抵抗値を用いたコンクリート構造物の品質モニタリング技術～型枠の中のコンクリートの状態を探る～、検査技術 Vol.20,No.8, pp.21-25, 2015 年 8 月号
- 7) 伊代田岳史: 連載:最終回 コンクリートの養生と表層品質 表層品質確保技術と養生モニタリング技術, コンクリートテクノ, Vol.34, No.5, pp.47-53, 2015
- 8) 伊代田岳史: 連載:第 2 回 コンクリートの養生と表層品質 コンクリート品質に与える養生の効果, コンクリートテクノ, Vol.34, No.4, pp.46-51, 2015
- 9) 伊代田岳史: 連載:第 1 回 コンクリートの養生と表層品質 養生の本質的な理解, コンクリートテクノ, Vol.34, No.3, pp.47-52, 2015
- 10) 伊代田岳史: 劣化したコンクリートへの表面含浸材適用効果の検証, 防水ジャーナル 2015 年 2 月号, pp.67-70, 2015

- 11) 伊代田岳史：コンクリートの劣化とその診断技術～安全安心な街構築のための維持管理～，材料試験技術，Vol.60,No.1,pp.27-35，2015（日本材料試験技術協会）
- 12) 伊代田岳史：連載・わが国コンクリート産業の底力 最終回：アンケートに見る建設業と人材育成～コンクリート産業を取り巻く実態と学生の動向～，コンクリートテクノ 12月号 Vol.33,No.12, p.46-52, 2014
- 13) 伊代田岳史，勝木太：特集／コンクリートと水 Part1 設計・施工と水 養生と水分 表層品質に及ぼす養生の効果と各種養生技術，セメント・コンクリート No.812, pp.25-31, Oct.2014
- 14) 伊代田岳史：養生終了のタイミングを推測する手法の一提案，コンクリートテクノ 6月号 Vol.33,No.6, p.29-35, 2014
- 15) 伊代田岳史：特集 産業副産物起源のコンクリート用混和材の有効利用-課題と展望- 4.産業副産物のコンクリート用混和材を大量使用したコンクリートの性質 4.1 高炉スラグ微粉末を大量使用したコンクリート，コンクリート工学 Vol.52, No.5, 2014
- 16) 伊代田岳史：若手技術者からの話 社会人の経験を通し大学で伝えたいこと，土木技術，pp.83-86, 2011.6
- 17) 伊代田岳史：高炉セメント特集 高炉セメントコンクリートの現状と今後の課題—研究側面から—，セメント新聞 2011.4.18号 pp.6-7, セメント新聞社（解説）
- 18) 伊代田岳史：国際情報 4th ACF International Conference 参加報告，コンクリート工学 3月号 pp.60-62, 2011.3
- 19) 伊代田岳史，勝木太他：コンクリート構造物の劣化診断技術，検査技術別冊 日工の知っておきたい小冊子シリーズ，検査技術 3月号，日本工業出版社，2011
- 20) 竹内一真，檀康弘，伊代田岳史：低発熱型高炉セメント B 種の歴史とその性能，セメント・コンクリート No.733, Mar, pp.17-23, セメント協会，2008
- 21) 檀康弘，伊代田岳史：高炉セメント本来の特徴を生かすことが必要 低粉末度高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの性状について，コンクリートテクノ 5月号，pp.82-86, セメント新聞社，2007
- 22) 加藤佳孝，伊代田岳史：宮城県沖地震により損傷したコンクリート構造物の修復状況を観る，土木施工，44巻，8号，PP.82～85，オフィススペース，2003

## 著書……………【3編】

- 1) 加藤佳孝，伊代田岳史，渡部正，梅村靖弘：鉄筋コンクリートの材料と施工，鹿島出版会，2012年
- 2) 土木技術会系化研究会（共著）：土木技術検定試験，ぎょうせい，2011年
- 3) 魚本健人監修（共著）：コンクリート構造物のマテリアルデザイン，オーム社，2007年

## [学会発行報告書]

- 1) 日本コンクリート工学会：構造物の耐久性向上のためのブリーディング制御に関する研究委員会報告書，2017年6月
- 2) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 112 コンクリートにおける水の微視的挙動研究小委員会（349委員会）委員会報告書，2017年6月
- 3) 日本コンクリート工学会：物理化学的解釈に基づく電気化学的計測手法の体系化に関する研究委員会

## 報告書

- 4) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 107 示方書連絡調整小委員会報告書一次世代の「コンクリート標準示方書」に向けてー，2015年8月
- 5) 土木学会：コンクリート標準示方書「基本原則編」
- 6) 日本コンクリート工学会：混和材積極利用によるコンクリート性能への影響評価と施工に関する研究委員会報告書
- 7) 日本コンクリート工学会：社会情勢とコンクリート産業構造の関連性検討委員会報告書
- 8) 土木学会：コンクリートライブラリー137 けい酸塩系表面含浸工法の設計施工指針（案）
- 9) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 98 材料劣化が生じるコンクリート構造物の維持管理優先度研究小委員会（342委員会）委員会報告書およびシンポジウム講演概要集
- 10) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 97 構造物表層のコンクリート品質と耐久性能検証システム研究小委員会（JSCE335）第二期成果報告書およびシンポジウム講演概要集
- 11) 日本コンクリート工学協会：混和材料から見た収縮ひび割れ低減と耐久性改善研究委員会報告書
- 12) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 89 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会（333委員会）No.2
- 13) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 74 混和材料を使用したコンクリートの物性変化と性能評価研究小委員会（333委員会）報告書ならびにシンポジウム講演概要集
- 14) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 71 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能
- 15) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 62 コンクリートの環境負荷評価（その2）
- 16) 土木学会：コンクリート技術シリーズ 44 コンクリートの環境負荷評価